

私たちの想い

みなさまに支えられた赤十字活動

令和3年度 事業報告・会計報告





日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

苦しんでいる人を救いたい……

それが私たちの原点です
私たちは、いつ、いかなる時も
その想いを胸に活動しています
その活動を支えているのは、
みなさまからお寄せいただいた「活動資金」です

日本赤十字社大阪府支部では、国内災害救護や救急法等の講習をはじめ、
「いのちと健康を守る」さまざまな活動を行っています。
多くの人の心にある「苦しんでいる人を助けたいという想い」を、
赤十字が「さまざまな活動やもの」に変えて、身近な地域から国境を越えた場所までお届けしました。
この冊子では、みなさまからお寄せいただいた活動資金をもとに、
当支部が令和3年度に行った数々の活動を写真や数字等でご紹介します。
令和3年度は、令和2年度に引き続き、各種講習・研修・イベントをオンライン等で実施しました。
あたたかいご支援、本当にありがとうございます。



令和3年度にお寄せいただいた活動資金の総額

19億 5,401万 8,932円

(遺贈・相続によるご寄付や将来的な事業のための高額のご寄付を含む)



国内災害救護……P4



赤十字ボランティア……P6



救急法等の講習……P8



看護師の養成……P9



血液事業……P10



国際活動……P5



(C) Tamara Vukov



青少年赤十字……P7



医療事業……P9



社会福祉……P10



地域活動の推進……P11





国内災害救護

Domestic Disaster Response



被災者に寄り添い、こころのケア活動を行う救護員

- ◆救護資機材の整備
- ◆救援物資の備蓄
- ◆救護班の訓練・研修
- ◆救護班の派遣
などを行いました。



災害で被害のあった地域に配布する救援物資を積み込む
防災ボランティア及び日赤職員



資機材の習熟を図る訓練を実施



国際活動

International Activities



- ◆紛争地の医療技術を高める支援
- ◆復興支援や被災地の防災力を
高める支援
などを行いました。



リモートで現地の事業を支援する大阪赤十字病院の看護師
(中東医療支援事業)



病院ERU(救護用テント)にて、医薬品・医療消耗品の管理を行う
大阪赤十字病院の薬剤師(ハイチ地震救援事業)



救護物資の状態を確認する大阪赤十字病院の職員
(ウクライナ人道危機)

♥ 国内災害救護に活用した金額 **6,211万円**

常時配備している医療救護班の数



20班

大阪赤十字病院15班
高槻赤十字病院5班

救護員研修会の実施回数及び参加人数



10回



210人

救護訓練の回数



5回

救援物資の備蓄数(令和4年3月31日現在)



毛布
8,530枚



緊急セット
1,866個



安眠セット
555個

救護員の派遣

新型コロナウイルス
入院患者待機ステーション支援のため
救護員派遣延べ人数



6人

大阪府調整本部への職員派遣

新型コロナウイルス感染者の
入院先調整業務支援のため
職員派遣延べ人数



43人

♥ 国際活動に活用した金額 **115万円**

海外への派遣延べ人数
(大阪府内からの派遣・リモート派遣含む)



5人

開発協力事業の実施

・インドネシア・コミュニティ防災事業

- ・パレスチナ赤新月社医療支援事業(ガザ地区)
- ・パレスチナ赤新月社医療支援事業(レバノン)
- ・ハイチ地震救援事業
- ・ウクライナ人道危機救援事業



赤十字ボランティア

Red Cross Volunteers



縫製品に使用する布を厳選する裁縫ボランティア

赤十字の活動は、ボランティアのみなさまに支えられており、今日も各地で活躍しています。

- ◆地域赤十字奉仕団
- ◆青年赤十字奉仕団
- ◆特殊赤十字奉仕団※
- ◆個人ボランティア

※無線や看護、救急法等推定資格などの技能をもった人たちによって組織されています。



小学校で防災教育プログラムを実施する防災ボランティア



団の紹介動画を作成した特殊奉仕団と防災ボランティア
(支部ホームページに掲載中)



青少年赤十字

Junior Red Cross



- ◆青少年赤十字創設100周年に向けた事業
- ◆学校における青少年赤十字活動の推進
- ◆青少年赤十字指導者・メンバーの育成などを行いました。



防災についての理解を深める青少年赤十字高校生オンライン・スタディー・プログラム



コロナ禍でもできる青少年赤十字活動について議論を重ねる
大阪府高等学校青少年赤十字メンバー連絡協議会



輸血を待つ方々のための献血呼びかけ活動

♥ 赤十字ボランティアに活用した金額 **2,470** 万円

地域赤十字
奉仕団数



72 団

特殊赤十字
奉仕団数



13 団

青年赤十字
奉仕団数



3 団

個人ボランティア数



183 人

研修会の実施回数
及び参加人数



6 回



176 人

694,955 人

664 人

97 人

♥ 青少年赤十字に活用した金額 **766** 万円

青少年赤十字加盟校数



418 校園所

青少年赤十字の
メンバー数



157,744 人

青少年赤十字体験学習プログラムの
実施回数及び受講者数



67 回



5,257 人

オンライン等で開催した
青少年赤十字活動

高校生メンバー
連絡協議会

5 回

高校生スタディー
プログラム

1 回

指導主事対象
研究会

1 回

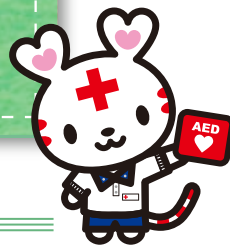
全国指導者
協議会総会

1 回



救急法等の講習

Safety Services



心肺蘇生の実技を学ぶ受講者(救急法)



高波・津波ステーションで浸水範囲について学ぶ防災セミナー指導員(研修)

急な病気やけがの手当、事故防止、また地域における防災・減災に役立つ知識や技術をみなさまにお伝えするため、次の講習を府内各地で開催しました。

- ◆救急法(心肺蘇生やAEDの使い方)
- ◆水上安全法(水の事故から身を守る方法)
- ◆健康生活支援講習(介護予防・介護技術)
- ◆幼児安全法(子どもの事故予防と手当)
- ◆防災セミナー(防災・減災の知識や技術)

♥ 救急法等の講習に活用した金額 **2,378 万円**

救急法の実施回数及び受講者数

126回 **3,789人**

水上安全法の実施回数及び受講者数

4回 **128人**

健康生活支援講習の
実施回数及び受講者数

33回
535人

幼児安全法の実施回数
及び受講者数

79回
3,254人

防災セミナーの実施回数
及び受講者数

10回
262人

※新型コロナウイルス感染防止のため一部内容を制限して実施しました。



医療事業

Medical Services



- ◆地域に根差した医療の提供
- ◆国内外の災害時に医師や看護師等を派遣
- ◆災害時における救護用医療機器の整備
などを行いました。



新型コロナウイルス感染症患者の介助を行う
大阪赤十字病院の看護師

♥ 医療事業に活用した金額 **9,395 万円**

新型コロナウイルス感染症患者の
受け入れに要する機器等の
整備にかかる資金の送金

4,000 万円
(1病院あたり2,000万円)

大阪赤十字病院(964床)/
患者延べ人数

入院
222,677人
外来
386,570人

高槻赤十字病院(335床)/
患者延べ人数

入院
90,127人
外来
133,696人



看護師の養成

Training of Nurses



大阪赤十字看護専門学校では、最先端の看護の知識・技術に加え、赤十字ならではの災害看護等を学び、広く社会に貢献できる看護師を養成しました。



ナースキャップを受け取った看護学生
(戴帽式)

♥ 看護師の養成に活用した金額 **1,051 万円**

看護師国家試験
合格者数

46人

看護専門学生の人
数(2~3学年)

76人

赤十字看護大学の学生への
奨学金の貸与数及び金額(4学年)

合計
18人 1,080 万円



社会福祉

Social Welfare Services



職員手作りのガチャガチャで
お買い物を楽しむ(大手前整肢学園)

大阪赤十字病院附属大手前整肢学園では、医療型障がい児施設として、利用者の生活向上のための支援を行いました。



♥ 社会福祉に活用した金額 **44 万円**

社会福祉施設(大手前整肢学園)への整備品

1 台

利用者延べ人数

19,253 人



血液事業

Blood Programme



献血バス前で協力を呼びかける日赤職員

大阪府赤十字血液センターでは、府内9か所の献血施設と移動採血車で、医療需要に応じた血液を確保しました。病気やけがで輸血が必要となった場合に備えて、高度な検査で安全性を確認し、24時間体制で医療機関に届けています。



♥ 血液事業に活用した金額 **454 万円**

献血者数(大阪府内)

397,018 人

血液製剤の供給数(大阪府内)

431,728 本



地域活動の推進

Red Cross Activities in the Area



新型コロナウイルスがまん延し、多くの地域活動が中止・延期・縮小を余儀なくされた中で、赤十字奉仕団は、感染防止対策を徹底し活動を行いました。



「赤十字防災デー」にて、パンフレットを配布する地域活動
(地域赤十字奉仕団)



♥ 地域活動の推進に活用した金額 **10,810 万円**

令和3年度収支のご報告

当支部では、赤十字活動の充実を図るため、限られた資金の中で最大の効果を上げることに取り組んでいます。

大阪府支部一般会計歳入歳出決算は、支部評議員会※1及び代議員会※2において承認されました。

※1 評議員：各地域で選出された会員の代表の方

※2 代議員：各支部の評議員会で選出された代表の方

収入の部	(万円)
活動資金収入	195,402
委託金等収入	0
補助金及び交付金収入	986
災害義援金預り金収入	0
繰入金収入	4,781
資産収入	6,878
雑収入	1,063
前年度繰越金	9,695
合 計	218,805

支出の部	(万円)
国内災害救護	6,211
国際活動	115
赤十字ボランティア	2,470
青少年赤十字	766
救急法等の講習	2,378
医療事業	9,395
看護師の養成	1,051
社会福祉	44
血液事業	454
地域活動の推進	10,810
社業振興費	9,756
積立金支出	109,457
総務管理費	13,884
社屋維持管理費	7,861
本社事業費	28,573
翌年度繰越金	15,580
合 計	218,805

※当初の見込を上回る活動資金収入により、支部及び管内施設の施設整備のための積立を行いました。
※災害救護時に拠点となる大阪赤十字会館の機能を維持するため、老朽化した外壁や階段等の修繕を実施しました。令和3年度の「社屋維持管理費」には、当該費用を含んでいます。



活動資金にご協力ください

日本赤十字社大阪府支部では、国内災害救護、国際活動、救急法等の講習をはじめ、「いのちと健康を守る」さまざまな赤十字活動を行っています。
これらは、みなさまからお寄せいただく「活動資金」によって支えられています。
引き続き赤十字の活動資金にご協力をお願いします。

郵便局・ゆうちょ銀行からの お振込によるご協力

口座番号:00990-4-54795

加入者名:日本赤十字社大阪府支部

※ 窓口からのお振込は、手数料が免除されます。

※ 銀行(りそな、三井住友、三菱UFJ、みずほ)からお振込みの場合は、手数料が免除となる振込用紙をお送りしますので、下記のお問い合わせ先までご請求下さい。

クレジットカードによるご協力

クレジットカードの決済でご協力いただけます。

※ 日本赤十字社のホームページ(<https://donate.jrc.or.jp/lp/>)から手続きをお願いします。



口座引落によるご協力

指定の預金口座から自動引落でご協力いただけます。

※ 専用の申込用紙に必要事項を記載していただく必要がありますので、下記のお問い合わせ先までご請求下さい。

遺贈や相続財産によるご協力 遺贈による寄付や相続財産の寄付でご協力いただけます。

■遺贈するには

遺言による方法で、財産の受取人を日本赤十字社とし、その用途を「日本赤十字社大阪府支部」の事業に指定することで、大阪府内の地域における活動に役立てることができます。

■遺産の寄付には相続税がかかりません

ご遺族の方が相続された財産を相続税の申告期限内(相続開始から10か月以内)に日本赤十字社大阪府支部にご寄付いただいた場合、寄付された財産には相続税がかかりません。

※ 詳細については、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

日本赤十字社にご寄付をいただいた場合に税制上の優遇措置が受けられます

日本赤十字社にご寄付いただいた活動資金は、個人の所得税・住民税や法人税に対する優遇措置が受けられます。

※ 詳細については、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

表彰制度について

活動資金へのご協力に対し、表彰制度を設けております。

※ 詳細については、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

お問い合わせ先

日本赤十字社大阪府支部 振興課
(平日:午前9時～午後5時30分)

☎ 06-6943-0707



日本赤十字社 大阪府支部
Japanese Red Cross Society

〒540-0008 大阪市中央区大手前2-1-7
TEL:06-6943-0705(代表)
<https://www.jrc.or.jp/chapter/osaka/>

日本赤十字社
大阪府支部

